

# ともだちのわ

T O M O D A C H I N O W A



認定こども園 山王幼稚園



愛隣幼稚園



認定こども園 さつきが丘幼稚園



認定こども園 千葉明德短期大学附属幼稚園

## Contents

- P02 巻頭言 木下 勝世 (学校法人愛隣学園理事長)
- P03 保育室の窓からI
- P04 千葉市幼稚園協会研修会
- P06 親子教室を終えて
- P08 令和2年度 園表彰・永年勤続者表彰式
- P10 保育室の窓からII
- P11 職員の異動、編集後記
- P12 千葉市幼稚園協会加盟園・特別会員・賛助会員紹介

# コロナ禍が子どもにもたらしたものの



学校法人愛隣学園 理事長  
木下 勝世

2020年度の幼稚園はコロナ禍によって休園や分散登園などを強いられました。楽しい催しも中止や縮小に追い込まれました。そこで子どもたちが損なったものは、心が動く体験やナカマとの生活を享受することでした。このことが子どもたちの幼児期の成長にもたらした影響は、決して小さなものではなかったと考えます。

## ◇幼稚園教育の基本

幼稚園教育要領が掲げている幼稚園教育の基本は「幼児期にふさわしい生活が展開される」「遊びを通しての指導を中心にねらいが総合的に達成される」「幼児一人一人の特性に応じる」の3つです。つまり『幼稚園は幼児ならではの自然で充実した生活の場であり、そこで子どもたちは思う存分遊びを繰り広げ、一人ひとりの特性が受け容れられ発揮される場』だということです。そして保育はそれを実現する営みです。

## ◇「心が動く」で育つもの

幼児期の育ちで最も大切なのは人格の基盤が培われることだと言われます。これは目に見えない育ちです。この目に見えない育ちは、様々な経験の中で子どもの心が動くことからもたらされると筆者は考えています。うれしい、悲しい、悔しい、ドキドキ、ワクワク、ハラハラ、モジモジ…です。

子どもの心がどう動いたか。それは見えないし測れません。けれどもそれによって培われるものは、幼児期の育ちとして絶大な意味を持つものなのです。幼稚園教育が子どもの園生活を大切にするのは、幼児ならではの自然さと充実のある生活でこそ、子どもの心が活発にまた豊かに動くからです。

保育計画が書き表すものは目に見える活動のみであり、子どもの心の動きは捉えられません。それが保育者の意図や計画を超えていて、しかも目に見えないからです。極論のようですが、幼稚園が計画して子どもに提供する活動の大切な成果は、子どもが計画通りに活動をこなすことや、その出来栄えではありません。その活動を通して子どもたちが何に出会い、何を感じ、心がどう動いたかです。そこに保育としての本当の成果が潜んでいるのです。

## ◇「ナカマ」と「ひとり」が育ち合う

幼稚園教育は集団でなされる教育です。集団による教育は等しく一定の水準の成果を得るのに有効な方法です。でもそれ以上に大事なものは、集団そのものが教育力を持つということです。

子どもは友だちとの出会いの中で、「アイツはすぐ怒るけれど優しい」「アイツはすぐ泣くけれど頑張る」と知ります。そして「そのアイツが大事な仲間」だと知ります。さらにその「知る」は自分に返ってくる。「ボクは〇〇だけれど△△」であり「ボクもミンナも仲間の一人だ」と知るので。集団と個の相互的な良い関係を通して、自分を肯定し他者を受け容れる力が育てられるのです。園生活はこの経験をたっぷり提供できる場です。幼稚園教育の大切な役割は、子どもたちの生活を通してこの育ちを実現することなのです。

本来子ども個々の育ちと子ども集団の育ちは相互的なものです。集団が個を育て、個の育ちが集団の生活を価値高いものにします。でも集団と個が常に相互的な良い関係でいられるかは、実は怪しい。幼稚園の生活に組み込まれている様々な行事にはこの危険が潜んでいます。行事の成功のために子どもも保育者も不自由な思いをし、意に沿わない活動を強要されてしまう。集団が優先され個が圧迫されてしまう。このような生活からは集団と子どもの良い育ち合いは生まれにくくなるでしょう。

## ◇損なわれたものの回復のために

2020年度はコロナ禍のため子どもの幼稚園生活は乱されました。失われたのは「予定したことができなかった」というような次元のことではありません。「心が動く」体験と「ナカマ」としての生活が損なわれたのです。私たちは、それが子どもの幼児期ならではの育ちに及ぼした影響の深さに思いを致すべきです。そしてそれを少しでも補うことに努めねばなりません。それが子どもたちに対して負うべき私たちの責務であり、2021年度の保育の課題です。

# 保育室の窓から I



## 元気にかけっこ

認定こども園 仁戸名幼稚園 宮本 真生

仁戸名幼稚園では今年度、子どもたちの体力向上とそこから自信に繋がるように園全体でかけっこに力を入れて取り組んでいます。

年中組の春頃はかけっこが始まると「走る機会があるから走る」という子どもたちでしたが、運動会を終えかけっこの楽しさや走ることへの自信がついたのか、かけっこ用のラインを引いておかげで子どもたちのみで集まり、スターター役の子ども・走る子ども・順位決め役の子どもと遊びのなかでかけっこが発展している様子が見られました。「今回は1位だった!!」「次は負けないからね!!」と遊びのなかでも自信をつけられていたり、悔しい気持ちを次のレースに繋げたりする姿が見られるようになりました。



遊びのなかでかけっこを進展させ、子どもたちで何かを感じながら心も成長している姿を見て、これからもそばで見守り自信をつけていけるようにしていきたいと思います。

### 私の好きな絵本

「もったいないばあさん」  
作：真珠まりこ  
出版社：講談社

もったいないばあさんが、もったいないことをみつけると「もったいない!!」と教えてくれます。言葉の響きを楽しみながら、もったいないことについて自然と学ぶ姿が見られ、子どもと一緒に読みたい楽しい絵本になっています。

## 羽子板作り

こてはし台幼稚園 鈴木 文栄

お正月遊びといえば何を思い浮かべますか？最近あまり馴染みがありませんが、こてはし台幼稚園では断然羽子板です。年長組になると、12月に自分だけのオリジナル羽子板を作ります。進級前から楽しみにする子どもも多い、大人気の制作です。4日間にかけて作り進め、羽子板の片面に綿を詰めて飾り付けをすると完成です。この飾りつけが楽しく、フェルトを色々な形に切って組み合わせ、一人ひとりが個性あふれる作品を仕上げます。子どもたちがイメージを膨らませて形にする過程のなかでは、うまく表現できずに困ってしまう時もありますが、そこは皆の知恵の出どころです。周りの子がアドバイスをしたり、一緒に考えたりと力を合わせて解決していきます。諦めず試行錯誤し、作りたい



ものが形になった時はどの子どもも満足げな良い表情をしています。そうして完成させる羽子板は唯一無二の宝物です。完成後は園庭に「行くよー!」という楽しい始まりの声と、羽根つきの音(どちらかと言えば声の方が多いですが…)が鳴り響き、年の暮れを感じるこてはし台幼稚園です。

### 私の好きな絵本

「エルマーのぼうけん」  
作：ルース・スタイルス・ガネット  
出版社：福音館書店

少年エルマーがりゆうを助けに行く冒険物語。数々の困難と知恵と勇気で乗り越えていく場面に子どもたちはハラハラドキドキ。エルマーのように決して諦めることなく挑戦する心を忘れないでほしいという思いで毎回読んでいます。

## 絵本の世界から

土気中央幼稚園 戸田 有紀

年長組の壁面製作のテーマは「絵本」です。各クラス、季節の絵本を選んでお気に入りの場面を壁面飾りで表現しました。

年少組の時から人物画や行事印象画に取り組み、年中組から絵の具を使い始め絵画の時間を多めに設けています。さまざまなポーズを取った人物を描いたり、虫や動物の身体の模様もよく観察し表現したり上手に絵を描くことができるようになりました。しかし、年度始めは自信がなく、お友達と見比べ、周りとの表現の仕方が違うと不安で手が止まっていました。

そこで、たくさんの表現の仕方があることを知ってほしいと思い、作者ごとに個性豊かに表現されている絵本を年間のテーマに選びました。「今月は〇〇が出てくる絵本にしよう!」と学年で統一し



ますが、毎回クラスで話し合いながら壁面を飾り、クラスごとに賑やかな壁面ができ上がります。みんなの意見を取り入れ、工夫して完成させた壁面を見て喜び、その楽しさを繰り返し経験できたことで、みんな同じ構図や色合いで描いていた絵も今では自信をもってそれぞれが個性豊かに表現できるようになりました。

### 私の好きな絵本

「バナナじけん」  
作：高島那生  
出版社：BL出版

車から落ちたバナナがもとで事件が起こります。そのバナナを見つけたさる、うさぎ、わに、そして車を運転していたお兄さん。場面ごとの効果音や表情が楽しく、みんなで大笑いしています。

# 千葉県幼稚園協会 研修会

千葉県幼稚園協会では教育・保育力向上を目的として、毎年さまざまな研修会を企画しすべての教職員が参加しています。今年度開催された研修会の報告をいたします。

## 研究部会

研究部会では、武蔵野大学准教授の箕輪潤子先生をお迎えして、「砂場っておもしろい～砂場の映像から子ども理解を深めよう～」というテーマで学び合いました。「子どもたちは何を面白い、何を経験しているのか」という幼児理解の切り口を「砂場」から探っていくというテーマはとても興味深く、園全体のカリキュラムや保育環境にも丁寧に目を向けるきっかけになりました。映像を見た後のグループワークでは、活発に意見を交わす姿があり、実践につなげていこうという意欲をもった部会になりました。



砂場の研究を行なっている箕輪潤子先生  
山崎



考えを出し合うことで学びが深まります  
佳世 (由田学園千葉幼稚園)

## 事例研究会

今年度の事例研究会は参加人数を制限し、例年の3分の1ほどの参加者で行いました。通常であれば「インシデントプロセス法による事例研究」を年間を通して行っていますが、今年はその見通しがもてなかったため、今回は「個別的教育支援計画」の作成について、その方法や手続きについて共に学ぶ研究会としました。春から他の園の先生方と会う機会もないまま半年が経過していましたので、久しぶりにそれぞれの園の様子、子どもたちの様子など情報交換を交え、有意義な時間となりました。



小グループで協議



個々の取組みを共有  
鈴木 由歌 (愛隣幼稚園)

## 特別支援教育研修会

今年度はオンラインによる2回の研修会となりました。1回目は「気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働」～子育ての合言葉は、それでいいよ だいじょうぶ～、2回目は「違っている一人ひとりが共に生きる幼児教育の意義と可能性」というテーマで実施しました。

保護者支援の研修では、保護者と協働していくことの大切さ、特に保護者と心を合わせおもしろい丁寧な聴くことの大切さを学びました。

2回目の研修会では「仲間と共に主体的に取り組める生活づくり」ということを教育の大切な価値として据え、講演が展開されました。そのなかで「自立」のとりえ方や「仲間と共に」ということについて改めて学ぶことができました。



1/15の講師 久保山茂樹先生



2/5の講師 名古屋恒彦先生

鈴木 朱美 (植草学園大学附属弁天こども園)

## 第1分科会

「子どもの発達とおもちゃ」と題してアトリエMARIE FACTORY 主宰おもちゃコンサルタント武田真理恵先生にワークショップ形式で講演をいただきました。先生はラッピングコーディネーターとしてTVチャンピオンやマツコの知らない世界にも出演された実力の持ち主です。おもちゃ選びには「音」「動き」「感触」「大きさ(重さ)」「色や形」「丈夫さ」の6つのポイントがあること、おもちゃは子どもの心の栄養になることを学びました。「心が動けば体も動く」先生が発したこの言葉が深く印象に残っています。



出来上がりを楽しみに制作する様子



牛乳パックを使っておもちゃ作り  
熊田 佳美 (子鹿幼稚園)

## 第2分科会

「幼稚園における特別支援」というテーマで、千葉大学の笠井孝久教授に講義をしていただきました。発達の問題をもつ子にとって、集団行動が一番苦手なことです。幼稚園という集団生活の場において、彼らなりに頑張っているということを念頭に置き、表面に現れるその行動だけを何とかしようとするのではなく、その行動の起因を推察し、その子に合った対応・支援を試行錯誤していかなくてはならないこと、また、子・親・教職員へのサポート体制を整えておくことの大切さを改めて感じました。



千葉大学教授 笠井孝久先生(講師)



幼稚園における、特別な支援ニーズを持つ幼児への支援を考える

竹内 久美 (認定こども園ひまわり幼稚園)

### 第3分科会

今年度は、新型コロナの感染拡大により日常の保育が大きく変わり健康観察や手洗いの励行、三密を避ける取り組みなど日常の保育や季節の行事等創意工夫しながら取り組んできました。そんななかでも、研修会を実施する意味や研修を受ける大切さを今一度実感することができました。今回の研修は、障害を持つ子どもへの理解と関わりを考える良い機会となりました。「障害児保育は、一人で抱え込むのではなくチームで支え合っていくことが大切だ」との言葉が胸に響きました。



真剣に講義を聴いています



クラスの子どもたちを思いながら聞き入っています

和田 由美 (認定こども園 千葉敬愛短期大学附属幼稚園)

### 第4分科会

「ただいま・笑顔満開・表現遊び」と題し講師を劇団風の子の大森靖枝先生に快く受けていただきました。令和2年度の分科会実施がこの1回のみで、人数制限により参加いただけない、又、状況を鑑み、参加できない園もあったことと思います。参加された先生方には、接触をしないで実技の研修をすることがいかに難しいことかわかりになったのではないのでしょうか。日頃の保育者としての業務に加え、コロナ対策をしながらの対応や保育展開で、いかに子どもたちの心に寄り添っていけるかなど、日々模索が続いていることとします。

大森先生から、その日1日を振り返り考える『良かった探し』をお勧めしていただきました。子どもたちと、より多く遊びをとおり元気に楽しく関わるといいですね!



座席は距離をとらせていただきました



体全体を使い、楽しさを表現しました

中村 八重子 (千葉文化幼稚園)

### 第5分科会

研修の計画はしたものの、コロナ禍でスタートした今年度はすべての園が園生活を見直す状態となり、感染症対策との日々のなかで研修ができるのか?不安と戸惑いを感じていました。

今回のみの研修となりましたが「小学校の生活～幼稚園からのスムーズな移行」をテーマに元小学校長前認定こども園園長水野美由起先生に講義をしていただきました。「このような状況(コロナ禍)でもできる行事や小学校との交流を見つけ、子どもたちが安心して小学校に行けるよう配慮してください。」具体的な内容でさらに事例をあげて話していただき中味の濃い研修でした。

意見交換の場ではどの先生も園生活最後の1年が経験不足となり自立心や協調性を充分育ててあげることができないので… 悩みながら保育に臨む先生たちの姿を感じました。

三密をさけての研修のため例年の三割程度の参加人数でしたが、研修ができたことに感謝し貴重な時間でした。



小学校生活へのスムーズな移行について



グループディスカッション

関原 喜恵 (認定こども園 山王幼稚園)

### 第6分科会

「打楽器を楽しむ 耳、目、手、足」をテーマに、打楽器&マリンバ奏者、シンガーソングライター、国立音楽大学講師である新谷祥子先生をお迎えし、研修を行いました。

打楽器の扱い方や基本を学ぶ研修ではなく、固定観念を払い耳、目、手、足など五感を刺激して楽しもうという内容でした。身近にある石やカスタネットでおしゃべり、音の遠近法、絵本のなかのオノマトペを打楽器で表現してみるなど一つひとつが新鮮で、打楽器の幅広い表現方法を知ることができました。



耳、目、手、足を使って楽しもう



小太鼓のバチをまねっこ遊び

鎌田 和子 (やまびこ幼稚園)

### 第7分科会

今年度の第7分科会では、コロナ禍ということ踏まえて、心理学博士の掛札逸美先生に「新型コロナウイルス感染症 園ですべきことは」というテーマで、初のZoom研修をお願いいたしました。担当者がパソコンの知識がなく、不安もありましたが、掛札先生が事前に接続練習も行ってくださったおかげで、当日は無事にZoom研修を行うことができました。一堂に会することなく、安心して今一番聞きたい内容を、新しい研修方式で学べた貴重な時間となりました。



Zoomにて研修中①



Zoomにて研修中②

綱川 千砂登 (認定こども園 千葉明德短期大学附属幼稚園)



# 2020年度 親子教室を終えて

千葉市幼稚園協会では子育て支援の一環として、2～3歳児向けの親子教室を開催しております。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信を活用して実施しました。協会ホームページで公開していますのでぜひご覧ください。

今年度の幼稚園協会主催「子育て大好き親子教室」は配信により実施されることとなりました。稲毛区担当となった愛隣幼稚園では、遊び塾はらっぱ主宰荒牧光子先生をお迎えして「あらちゃんとあそぼう」を開催いたしました。

いつも笑顔・元気いっぱいの荒牧先生と一緒に数組のご家族(今回は職員関係者に限定)に参加していただきました。楽しい歌・手遊び・ふれあいあそび・おもちゃ作り、子どもたちもお家の人もみんなが自然に笑顔になる時間でした。コロナの感染が広がるなか、家庭で過ごすことが増えている子どもたちです。家の中でも子どもと一緒に身体を動かして遊ぶと、体も心も元気になれそうです。荒牧先生からは、子どもが自信をもつ言葉掛けや子育てのヒントもいっぱいいただきました。

お家の皆さんへのエールもいただき、心がホカホカする時間になりました。

鈴木 由歌 (愛隣幼稚園)



元気な荒牧先生です



お家にあるものでおもちゃを作ろう



ボクもママも楽しい時間



ママと一緒におもちゃを作ろう



あらちゃんこと荒牧光子先生を都幼稚園にお招きをし、親子で触れ合える体操やごっこ遊びを教わり、楽しい時間を過ごしました。今年度は、YouTube配信ということで、近隣の方をお呼びできなかったため、都幼稚園の満3歳児クラスの数名が参加しました。物に頼りがちな現代、身近なものに変身して少しずつ体を動かしたり全身運動に繋がったりして楽しめる、スキンシップたっぷりの遊びを教わりました。また「ハンカチを使ったろうそくの炎消し」では、深い呼吸をすることで肺機能が丈夫になり言葉が出やすくなる、という子育てママにはうれしい情報もお聞きできました。

「ボールを使用しないボール遊び」という楽しい遊びに子どもたちが思わず走り出す姿も。とても楽しく、あっという間に時間の過ぎた1日となりました。

青木 京美  
(認定こども園 都幼稚園)



♪元気いっぱいあらちゃん先生



『ろうそく フー!』  
深く息を吐いてみよう



お散歩わんちゃんに変身

のぞみ幼稚園では、2つのパネルシアターの動画を作成いたしました。

家庭では絵本を読むことはあっても、パネルシアターを見ることはなかなか無いと思います。パネルシアターの魅力は、見せる側と見ている側との応答を楽しみながら、子どもと一緒に進められることです。今回は、幼稚園の子どもたちに見せている様子を撮影し、お見せすることにしました。

1つめの「やまのワルツ」は、歌に合わせて山の幼稚園の一日を見ていくお話で、子どもたちは物語の世界に引き込まれながら、次の展開を楽しみに見していました。

2つめの「おひるねだーれ?」はお布団がかかった生き物が何かを当てるお話で、子どもたちは「これはぞう!」「へび!」などと一生懸命答えて楽しく参加していました。ご家庭でも、ぜひ親子でパネルシアターをご覧ください。

田村 愛子 (のぞみ幼稚園)



やまのワルツ



おひるね だーれ?

乳幼児期は、お父さんお母さんとスキンシップをとり、一緒に遊びながらさまざまなことを学んでいきます。

親子で体操することで、握力・腕力・脚力などが育ち、何よりも親子が笑顔でいっぱいになります。

めぐみ幼稚園の2歳児親子サークルでは、月に1度体操の先生と"体育あそび"を行っています。親子で電車ごっこをしたり、動物になりきっての表現遊びをしたりと、身近なものの真似をしながら体を動かします。また、手遊びやわらべうた、工作なども楽しんでいきます。そして、保護者の方々の情報交換の場にもしています。子育てについて共有できる仲間を見つけたり先生に悩みを相談したりすることで、みんなで子育てを楽しみ、保護者も先生も子どもたちと共に成長できる環境を整えたいと日々思っています。

小谷 智恵子 (めぐみ幼稚園)



保護者の上に乗ってゆりかご



一本橋を渡ろう



ストレッチ  
「ぐーんとのばしてストレッチ」



ひこうき  
「てをはなして ひこうき びゅーん」



山のぼり  
「よいしょ よいしょ やまのぼり」

当園で親子教室を開催予定でしたが、先行きが見通せない状況もあり、動画配信に変更となりました。当園の体育指導を担当して下さっている寺村先生(株式会社ジャクパ)と相談しながら、撮影から編集に至るまでご協力いただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、家の中で過ごすことが増えていましたので、親子で楽しめるストレッチや運動を行う「ふれあい親子体操」を考えました。

子どもの運動への興味づけや体力づくり、また保護者の方々の運動不足解消を主な目的としました。この動画を一緒に観て行い、親子のコミュニケーションを通して絆をより深めることにつながれば嬉しいです。

西郡 直子 (認定こども園 ほまれ幼稚園)



『一般社団法人日本ふれあい育児協会』にご協力いただき「おうち時間を親子で楽しめるリトミック・おうちにあるもので遊べる工作と遊び」を収録し配信いたしました。

代表の三上千賀先生は「お子さんの生きる力、家庭の根っこを育てたい」と願い、地域の子育て支援にご尽力されています。また、幼少期の親子のふれあいの大切さもお話いただきました。ご家庭での親子のふれあいの一助になればと思います。



ボール遊び5.4.3.2.1ぽーん!



クイズ どっちかな?

畑野 秀信 (スガハラ幼稚園)

# 令和2年度 園表彰・永年勤続者表彰式



## 園表彰・永年勤続者表彰式を終えて

令和2年5月27日(水) 例年どおり千葉市民会館で多数の方にご参加いただく三部構成の式典に、振興委員の一員としてお手伝いさせていただくつもりでございました。

昨年度の卒園式頃から園内外全ての行事がコロナ禍により変更せざるを得ない状況下となり、中止・計画の見直しその旨のお詫びと協力の要請等々、挙げれば限りない怒濤のような日々を皆様が、それぞれの立場で過ごされたのではないかと思います。

「第54回千葉市幼稚園協会教育振興大会」も、当初の日程は緊急事態宣言発令中となり、日程の変更を余儀なくされました。そんなコロナ禍、今年は皆様のご尽力により令和2年11月18日(水) 千葉県教育会館大ホールにて「令和2年度 園表彰・永年勤続者表彰式」という形で開催されました。消毒やマスクやビニール手袋着用など、要所の感染対策にも配慮され、例年とは違った雰囲気なかで会場準備が進められました。

開式の言葉から始まり、創立90年1園・創立45年8園の表

彰、永年勤続のみなさま38名の表彰が例年と同じように行われ、舞台を見ている限りは例年どおりに盛大な御祝となりました。永年の多くの経験を積み重ねてこの日を迎えられた先生方おめでとうございます。少ない観客席からは一生懸命大きな拍手が送られました。

千葉市長熊谷俊人様からも丁寧なご挨拶をいただきました。保育者の体験発表は例年とは違い来賓の皆様が壇上にいらっしゃるままでの発表でした。大きな緊張のなか、それを感じさせない立派な発表でした。

実施を心配されていた方も多く、それだけに出席された皆様の心に残る会となったのではないかと思います。このような状況で会を開催できましたのは、運営に携わる方々、ご支援ご協力いただいた方々がそれぞれの立場で今までとは違う大変な思いや経験をされながら、ご尽力くださったお陰だと思います。ありがとうございました。

上代 典子 (翠幼稚園)



式典の様子



永年勤続者代表謝辞



保育者の体験発表

### 令和2年度 創立90周年、45周年園表彰

創立90周年園表彰

羔幼稚園

創立45周年園表彰

認定こども園 真砂幼稚園

土気中央幼稚園

千城東幼稚園

加曾利幼稚園

こざくら第二幼稚園

ひばり幼稚園

真砂第一幼稚園

真砂白百合幼稚園

### 令和2年度 永年勤続者表彰

40年	30年	20年	10年
関原 喜恵	遠山 ミツヨ	海野 純子	板倉 一馬
九重 久代	増田 久代	井上 恵子	藤平 優
高洲 良実	新井 良実	網川 千砂登	大健 綾香
千葉敬愛短期大学附属	上田 和美	大川 裕美	五十嵐 実季
千葉敬愛短期大学附属	牧野 余至子	平良木 夕子	小川 純子
城徳学園いそべ	海野 純子	飯塚 理恵	和田 教枝
はまの	井上 恵子	増田 結美	吉岡 久美子
松ヶ丘	網川 千砂登	橋本 真理	長田 沙紀
千葉明德短期大学附属	大川 裕美	海野 裕美	松崎 尚子
高洲	平良木 夕子	白石 直子	北澤 悟
千葉敬愛短期大学附属	飯塚 理恵	宇野 直美	伊東 未来
若松台	増田 結美	小針 由香	今川 早苗
みつわ台	橋本 真理	渥美 友香里	平島 英子
山王	海野 裕美		白井 美香
めぐみ	白石 直子		羽田野 絵未
弥生	宇野 直美		川上 佐友里
松ヶ丘	小針 由香		河嶋 浩子
松ヶ丘	渥美 友香里		大澤 明日香
白梅			神 千晶
			九重 園生
			聖母マリア
			千葉明德短期大学附属
			千葉明德短期大学附属
			千葉明德短期大学附属
			葵
			由田学園千葉
			新検見川
			千葉さざなみ
			植草学園大学附属弁天
			さつきが丘
			若松台
			山百合
			山百合
			みつわ台
			鏡戸
			都賀の台
			都賀の台

羔幼稚園

岸 憲秀

羔幼稚園は90年間、愚直に保育を続けてきました。この表彰はそういう「愚直さ」を確認して、また歩みだすしるしだと思っています。ひたすら幼子に寄り添うわざの喜びを共にできたことを感謝します。

認定こども園 千葉敬愛短期大学附属幼稚園

新井 良美・上田 和美

この度はコロナ禍での、永年勤続表彰式を開催して下さり心より感謝いたします。また、これまで私たちを支え、育ててくださった先輩方や子どもたちに感謝するとともに、これからも可愛い子どもたちのために全力を尽くして参ります。

由田学園千葉幼稚園

長田 沙紀

この度は表彰いただき、とても嬉しく思っています。保育に関わること以外にも、生きる上で必要な技術や知識を子どもと共に学ばせていただいた10年間でした。今後もわくわくする気持ちを忘れずに楽しんでいきたいと思います。

認定こども園 山王幼稚園

関原 喜恵

コロナ禍での永年勤続表彰をしていただき、ありがとうございました。例年と異なる振興大会の形でしたが私にとっての保育人生の記念日です。今年度は園行事すべてを見直し、感染対策と子どもたちにとっての大切な経験とのせめぎあいのなかで日々保育しています。そのなかで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに歩み続けたいと思います。

若松台幼稚園

飯塚 理恵

すっかりと秋も深まり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。いまだにコロナ禍ではありますが、このように永年勤続の表彰式を行っていただき、心から感謝を申しあげます。ここまで続けてこれたのも、たくさんの子どもの笑顔や仲間との日々が頑張る原動力となり、続ける支えとなっています。今年は、かつて経験のない状況におかれています。これからも“新しい生活様式”のなか、保育を見直し、職場のみんなと“楽しく”子どもたちと向き合っていきたいと思えます。

土気中央幼稚園

小川 治政

園が生まれて45年、当時の子どもたちも50代かと思うと感慨もひとしおです。また、園表彰をいただき、ますます子どもたちのために心を変えております。幼稚園を支えてくれた保護者の皆様、幼稚園にご支援をくださる千葉市、千葉市幼稚園協会、事務局の皆様へ厚く御礼申し上げます。これからも幼児教育の発展に努力いたします。

## 千葉市幼稚園協会からお知らせ

ちばシティポイント  
対象事業に登録されました

### 幼稚園・認定こども園で働きたい方をサポートします!!

厚生労働大臣許可番号：12-コ-300646

幼稚園・認定こども園で働きたい方や再就職を考えている方は、ぜひ、千葉市幼稚園協会HPの求職登録フォームよりご登録ください。資格をお持ちでない方もご相談ください。

千葉市幼稚園協会

検索

公式Twitterフォローお願いします  
(@youchien\_chiba)



協会ホームページもご覧ください  
親子教室動画公開中です



子育て電話相談室

毎週水曜日 AM10:00~PM4:00  
(夏休み、冬休み、春休みを除く)

0120-510-439

# 保育室の窓からⅡ



## もみすり体験

子鹿幼稚園 花嶋 美生

子鹿幼稚園では、園庭にある田んぼで稲を育てています。秋になり、年長さんが収穫や脱穀をしてくれ、年中の元にもみが届きました。経験として、すり鉢を使い、もみすりをする事になり興味津々の子どもたち。もみから出てきたお米を見て「白くないね」と気がついた様子。保育者が玄米だと伝えると「知ってる!!」と反応してくれる子もいました。手作業でのもみすり、そしてもみ殻と玄米を分けていくのはとても地道なので、すぐに飽きてしまうかもしれないと思っていた保育者をよそに、夢中になっている子どもたち。一人スプーン一杯程度持ち帰ることになっていたのに、クラス全員分頑張ろうと意気込んでいました。徐々に増えていく玄米を見て、ニンマリ顔の子どもたち。達成感を味わっているように見えました。大好きな自由遊びの時間、いつもならおもちゃを広げて遊んでいる子どもたちですが、「先生、お米やる～!!」と話しに来てくれました。お米ができていく過程を知り、来年は自分たちが田んぼで育てていく所からできるという期待も大きくなり、秋ならではの楽しい体験となりました。



### 私の好きな絵本

「ちょっとだけまいご」  
作：クリス・ホートン  
出版社：BL出版

木の上に住むフクロウの親子。仲良く寝ていると子どものフクロウが木から落ちて迷子になってしまいます。心配したリスがフクロウのジェスチャーをヒントにお母さんを探してきますが……。単純だけど面白いやりとりが子どもたちに人気です。

## 運動会に向けて～リレー練習

あやめ台第二幼稚園 佐藤 あかね

年長組は、かけっこと組体操の他にリレーを行いました。はじめはバトンを落とさず友達に繋いでいくことを中心に練習をしていました。バトンを落としてしまう子や、スムーズに渡せず苦戦する子などそうした姿が多くありました。そこで、みんなでどうしたらバトンを落とさず渡せるのか考え、保育室の中で輪になって「はい!!」と声をかけて、次の友達にバトンを渡す練習をしました。すると、スムーズにバトンの受け渡しができるようになり、リレーらしくなっていました。

1クラスしかないため、クラスを半分に分けて2つのチームで競走します。何日が練習を重ねていくと、片方のチームが連勝し、勝てないチームが落ち込んでしまいました。そこでまた、どうしたら速く走れるようになるか、走行順はこのままでいいか、チームごとに作戦会議の時間をとりました。すると「腕を振って走る」、「一番速い子がアンカーで走る」「転んでもあきらめない」などさまざまな意見が出ました。子どもたちの意見を取り入れ、走行順を変更し練習するとずっと負けていたチームが勝つことができました!子どもたちはとっても喜び、前よりチームワークが良くなってきました。



保育者の指示を伝えることは簡単ですが、年長児らしく自ら考えたり、考えを発言したりしていく場をこれからもつくり、成長してほしいと思います。

### 私の好きな絵本

「おかえし」  
作：村山桂子  
出版社：福音館書店

キツネの奥さんは、引越しのあいさつに隣のタヌキの奥さんにいちごを持っていくと、タヌキの奥さんがおかえしのおかえしで他の物を持っています。その後もおかえしのおかえしが止まりません。おかえしのやりとりが楽しく、最後の結末にびっくりです!

## 体力づくり

千城東幼稚園 木村 千恵

今年度は1学期の始業も遅れ、子どもたちの体力低下が心配されました。通常保育が始まると体力づくりができるよう保育のなかにさまざまな工夫を取り入れ、体力維持に心がけました。

年中組では大好きな鬼ごっこを毎日繰り返し、ドロケイやバナナ鬼、最近ではしっぽ取りも始まりました。「僕がおに～!!」「誰か助けて～!!」と友達同士相談したり、助け合ったりしながら楽しんでいきます。また、年長さんが運動会で披露した1人組体操に挑戦し、V字バランスや片手バランス、ブリッジができるようになってきました。年長組が取り組んでいる憧れの縄跳びカードや鉄棒カードにチャレンジする子どもも増えてきて、短縄跳びや長縄跳びがどんどん跳べるようになってきています。苦手だからと尻込みすることのないよう、みんな一緒に取り組むことでお互いに励まし合ったり応援したりする姿が見られ心の成長も感じられ嬉しいです。



今後も健やかな心と身体づくりを目指し、日々の保育に運動遊びを取り入れていこうと思います。

### 私の好きな絵本

「はじめてのおつかい」  
作：筒井頼子  
出版社：福音館書店

お姉ちゃんになったみいちゃんがお母さんに頼まれてはじめておつかいに挑戦し買い物してくるまでのお話です。ハラハラドキドキする気持ちや達成できた喜び・待っていてくれたお母さんが挿絵の中で実際の事のように感じられる心が温かくなる絵本です。

# 職員の異動

ともに千葉市の幼児教育のために働いた先生方とのお別れはさみしさを感じずにはられません。先生方のよき模範にならい、これからも励んでいきます。

新たに出会うことのできた先生方、幼児教育と子どもたちの笑顔を守るため、一緒にがんばってまいりましょう。よろしくお祈りします。

区	園名	退職(退任)された理事長	新理事長
中央	認定こども園 ひまわり幼稚園	塩田 幸広先生(R2.4.30逝去)	塩田 梨佳先生
花見川	認定こども園 さつきが丘幼稚園	鶴岡 正次先生	鶴岡姫美子先生
若葉	大宮幼稚園	荒田 和代先生	御園 雅代先生
若葉	千城台南幼稚園	宮原 敏志先生	宮原 崇志先生
若葉	加曾利幼稚園	伊藤 侑男先生	伊藤 克己先生
若葉	認定こども園 みつわ台幼稚園	宍倉 壽夫先生	福地 綾先生
区	園名	退職(退任)された園長	新園長
中央	認定こども園 登戸幼稚園	井下田敦子先生	五味 美鳥先生
中央	認定こども園 千葉明德短期大学附属幼稚園	米澤真理子先生	明石 現先生
美浜	真砂白百合幼稚園	田中 祐子先生	鈴木 徹先生
稲毛	認定こども園 稲毛すみれ幼稚園	西澤 貫心先生	西澤 正博先生
若葉	千城台南幼稚園	宮原 敏志先生	宮原 直美先生
若葉	加曾利幼稚園	窪田 典子先生	和泉 みさ子先生
緑	認定こども園 白梅幼稚園	水野美由起先生	安河内英則先生
緑	聖母マリア幼稚園	羽場 勝子先生	田村 和子先生
緑	認定こども園 鏡戸幼稚園	小松 礼子先生	片岡 春美先生
緑	認定こども園 キッズビレッジ	石田由美子先生	地挽ゆかり先生

## 編集後記

本園の《めざす園児の姿》に「やさしさと思いやりのある子」が掲げられています。

先日、敬愛短期大学講師 松尾忠正先生をお迎えて「思いやり」についての園内研修を行いました。日常の子どもたちの行動を振り返ってみると年少、年中、年長それぞれの子どものらしい「思いやり行動」がたくさんあることに気づかされました。やさしさいっぱいの子どもたちとすごせていること、とてもうれしく思いコロナ禍で沈みがちな心が励まされました。

各ご家庭や園では制限された生活を余儀なくされて

いることと思います。千葉市幼稚園協会会報も例年は年間2回(10月・3月)の発行でしたが今年度の発行は1回(140号)のみとなりました。原稿や写真をお寄せいただきご協力くださった皆様に感謝申し上げます。

コロナ禍にあっても、子どもたちにとってはかけがえのない園生活です。各園では活動内容を精選したり内容を工夫したりして子どもたちが笑顔で過ごせるよう、また私たち保育者が「思いやり行動」の手本が示せるよう保育に努めてまいります。

都賀の台幼稚園 島田 靖子

## 公益社団法人 千葉市幼稚園協会加盟園

羔 幼 稚 園	泉 幼 稚 園	青い鳥第二幼稚園	若松台幼稚園
翠 幼 稚 園	こまどり幼稚園	千城台南幼稚園	山百合幼稚園
双葉幼稚園	認定こども園 都幼稚園	へいわ幼稚園	認定こども園 植草学園大学附属美浜幼稚園
認定こども園 稲毛すみれ幼稚園	園生幼稚園	幼保連携型 認定こども園 植草学園大学附属弁天こども園	認定こども園 みつわ台幼稚園
認定こども園 登戸幼稚園	みのり幼稚園	子鹿幼稚園	千葉聖心幼稚園
認定こども園 ひまわり幼稚園	花園幼稚園	認定こども園 高洲幼稚園	小中台幼稚園
千葉文化幼稚園	聖母マリア幼稚園	幼保連携型 認定こども園 千葉女子専門学校附属聖こども園	認定こども園 鏡戸幼稚園
弥生幼稚園	あやめ台幼稚園	認定こども園 千葉敬愛短期大学附属幼稚園	認定こども園 山王幼稚園
青い鳥幼稚園	さざれ幼稚園	認定こども園 さつきが丘幼稚園	スガハラ幼稚園
愛隣幼稚園	認定こども園 千葉明德短期大学附属幼稚園	認定こども園 葵幼稚園	都賀の台幼稚園
幼保連携型 認定こども園 はまの幼稚園	認定こども園 信徳寺あさひ幼稚園	暁幼稚園	磯辺白百合幼稚園
穴川花園幼稚園	認定こども園 花見川幼稚園	認定こども園 真砂幼稚園	城徳学園いそべ幼稚園
認定こども園 松ヶ丘幼稚園	由田学園千葉幼稚園	土気中央幼稚園	院内幼稚園
大巖寺幼稚園	こざくら幼稚園	千城東幼稚園	めぐみ幼稚園
大宮幼稚園	新検見川幼稚園	加曾利幼稚園	幼保連携型 認定こども園 キッズビレッジ
梅乃園幼稚園	認定こども園 ほまれ幼稚園	こざくら第二幼稚園	花水木幼稚園
幼保連携型 認定こども園 白梅幼稚園	千葉白菊幼稚園	ひばり幼稚園	あすみ中央幼稚園
稲毛幼稚園	認定こども園 土岐幼稚園	真砂第一幼稚園	幕張インターナショナルスクール幼稚園
認定こども園 仁戸名幼稚園	認定こども園 千葉さざなみ幼稚園	真砂白百合幼稚園	(設立順)
九重幼稚園	のぞみ幼稚園	認定こども園 高浜幼稚園	
認定こども園 小ばと幼稚園	こてはし台幼稚園	やまびこ幼稚園	
		あやめ台第二幼稚園	

## 特別会員

植草学園大学/植草学園短期大学	淑徳大学	千葉敬愛短期大学
学校法人千葉経済学園 千葉経済大学短期大学部	学校法人千葉明德学園	千葉女子専門学校

## 賛助会員

㈱ チャイルド本社	東海建設 ㈱	㈱ 幼稚園給食
ワタナベメディアプロダクツ ㈱		
㈱ ジャクパ	㈱ スタジオアリス	㈱ スタジオタイム
㈱ 千都建築設計事務所	㈱ そごう・西武店	㈱ ニシハタシステム
㈱ ライフイック		
㈱ 菊地商事	グンジ保安設備工業	松栄建設 ㈱
㈱ アイドル	㈱ A O K I	石川造園
クルーサポート ㈱	㈱ 桑田建築設計事務所	スタジオビッグベル
㈱ セネック	セブンイレブン 千葉高洲1丁目店	㈱ 千葉美術アカデミー
東洋観光 ㈱	㈱ トランステック	古谷乳業 ㈱
㈱ マザー牧場	㈱ みつばコミュニティ	幼児活動研究会 ㈱
㈱ 与志建設	㈱ ライムグラフィック	㈱ 和可松観光

千葉県保育教材業者会

㈱ジャクエツ・㈱チャイルド本社・㈱学研教育みらい・㈱ワンダー関東・㈱フレーベル館・ひかりのくに(株)・㈱こどものとも